

令和3年2月16日(火) 13:00～17:15  
オンライン開催

国立教育政策研究所  
令和2年度教育改革国際シンポジウム

高度情報技術の進展に応じた教育革新  
フェイズ2 シンポジウム  
～ICTを活用した公正で質の高い教育の実現～



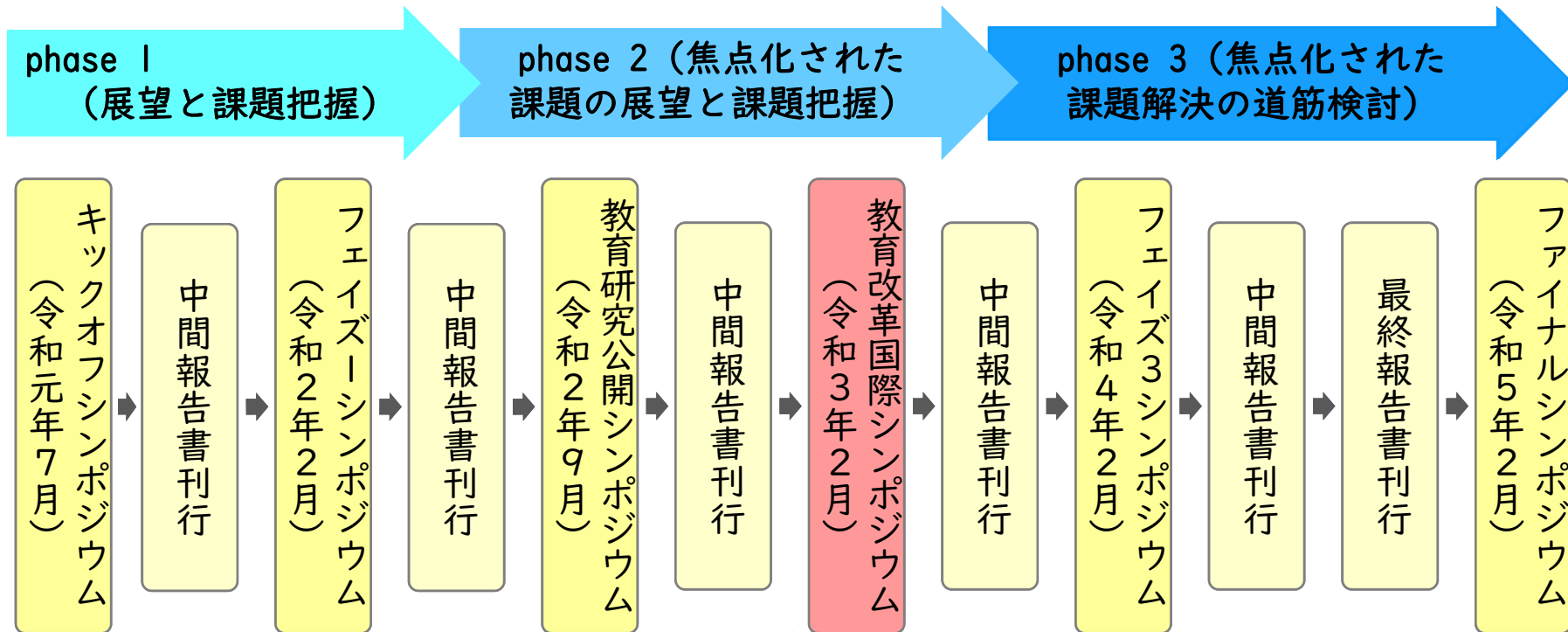
国立教育政策研究所  
NIER National Institute for Educational Policy Research

# 国立教育政策研究所

## 「高度情報技術の進展に応じた教育革新に関する研究」プロジェクト

(研究代表者：藤原文雄初等中等教育研究部長，研究期間：令和元年度～令和4年度)

(研究の概要) ICT・AIなど進展する高度情報技術を学校教育にも積極的に取り入れることにより**教育の質を一層高めていく教育革新**を推進するための方策検討に資する知見を提供する。



政策形成・実施に資するべく，政策担当者，教育関係者及び情報技術開発者等関係者との連携の下，研究成果の共有を進め，「オープンサイエンス」を推進する。

# シンポジウムの趣旨

---

## 【シンポジウムの趣旨】

新型コロナウイルス感染症拡大という危機的状況において、教育の質とともに、教育における公正に今まで以上に注目が集まるようになりました。そこで、リサーチを通じた危機的状況に対する各国の学校現場の対応とそこで見えてきた課題を一つの切り口にして、いかに、ICTを活用した「公正で質の高い教育」実現に向けて取り組むべきか、原理的に考え、今後の研究課題を整理します。

# シンポジウムの主たる問い

---

## 【シンポジウムの主たる問い】

- (1) 「公正で質の高い教育」とは何か。
- (2) 「公正で質の高い教育」の実現を支える、または阻害するICTの教育利用の可能性と促進条件は何か。
- (3) ICTを活用した「公正で質の高い教育」のビジョンとシステムはどのようなものか。

# 第一部 13:10~14:30

---

## (リサーチ)

コロナ休校に対する各国の学校現場の対応とそこで見えてきた課題を切り口に、ICTを活用した「公正で質の高い教育」の実現に向けての現状と課題を整理します。

## 第二部 14：35～15：45

---

### (デモンストレーション)

本プロジェクトのデモンストレーションスクールとして連携協働いただいている熊本市、広島県安芸太田町におけるICTを活用した「公正で質の高い教育」の実現に向けた取組事例をご報告いただき、どのような条件がICTを活用した「公正で質の高い教育」を促進しうるのか検討します。

## 第三部 15：50～17：10

---

### (ビジョナリートーク)

コロナ禍が我々に迫った「公正で質の高い教育とは何か」という問いに対する熟考や再考，さらに「そのためのICTの活用」に向けた様々な新しい取り組みを俯瞰し，それぞれの教育現場が自ら「公正で質の高い教育」と考える理想に向けて実践を行うための視座と示唆を入手できるビジョナリートークを展開します。